

《日本海沿岸東北自動車道》

鷹巣大館道路 (鷹巣IC~二井田真中IC) が

10月22日(土)に開通します

～地域の産業・観光支援、冬期の走行環境の改善効果が期待されます～

国土交通省が事業を進めてきました、鷹巣大館道路のうち、鷹巣IC~二井田真中IC間の延長12.2kmが平成28年10月22日(土)に開通する見込みとなりましたので、お知らせします。

今回の開通により、北秋田市が初めて日沿道ネットワークの一部として組み込まれ、秋田県北地域の産業・観光の支援、冬期の走行環境の改善に大きく寄与することが期待されます。

○鷹巣大館道路の開通により期待される効果(別添参照)

- 効果1: 大館北~小坂間の開通以来続く企業進出・設備投資を後押し
- 効果2: 県北全体が連携した広域周遊観光ルートの形成を支援
- 効果3: 秋田県北の暮らしと産業を支える冬期交通を確保

1. 開通区間

○鷹巣大館道路

鷹巣IC(北秋田市) ~ 二井田真中IC(大館市)(延長 12.2km)

※今回開通する区間は、無料となります。

※今回開通する区間は自動車専用道路となり、歩行者・自転車・軽車両及び二輪車(125cc以下)は通行できません。

2. 開通日

○平成28年10月22日 土曜日

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせします。

3. 路線名及びICの正式名称

○路線名 日本海沿岸東北自動車道 (通称名: 秋田自動車道)

○IC名称 (仮称) 鷹巣IC → 鷹巣IC

記者発表先: 秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ、東北専門記者会

問い合わせ先

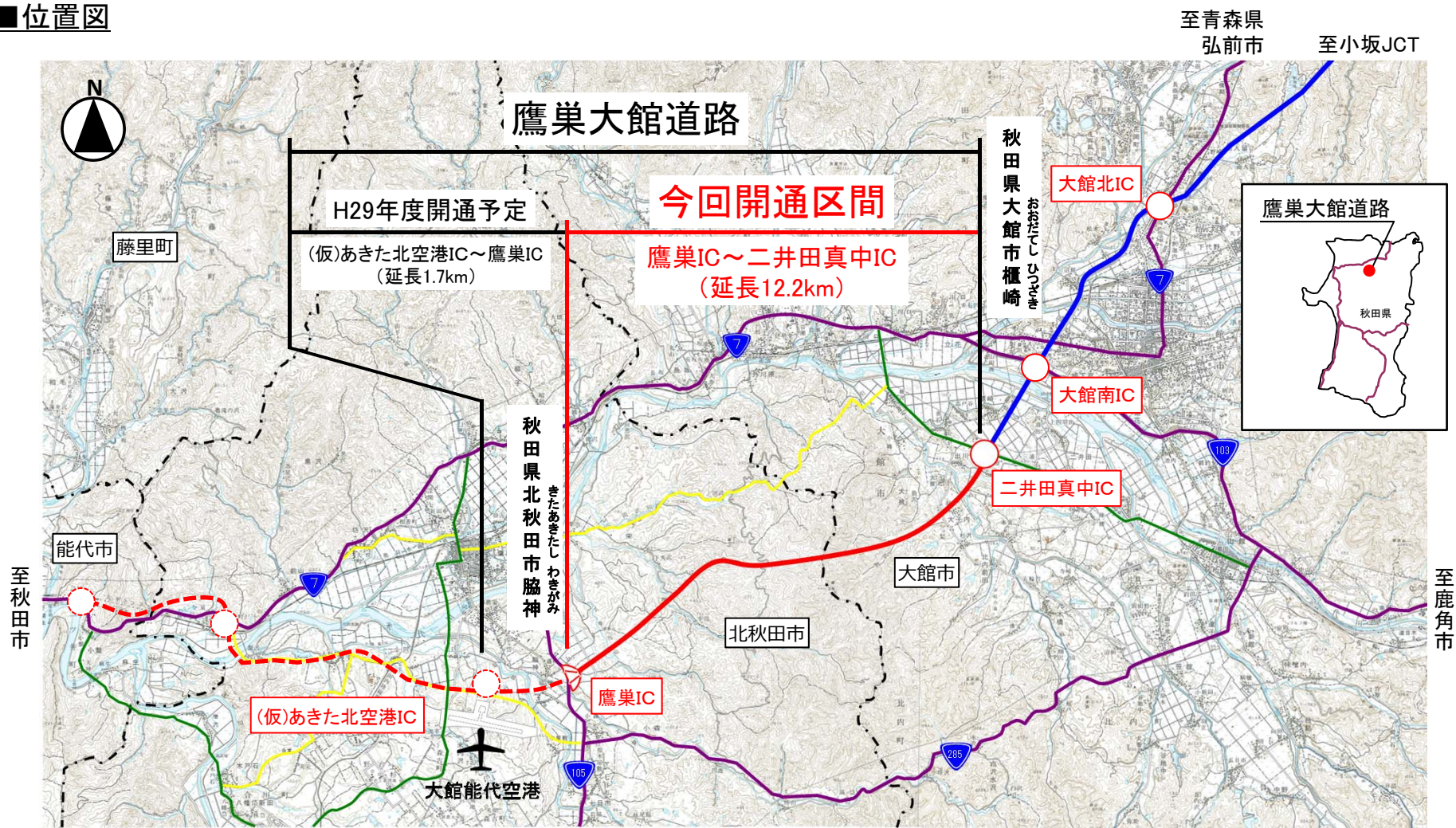
国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

TEL 0185-70-1001(代)

副所長(道路担当) おやま しげる 小山 茂 (内線205)

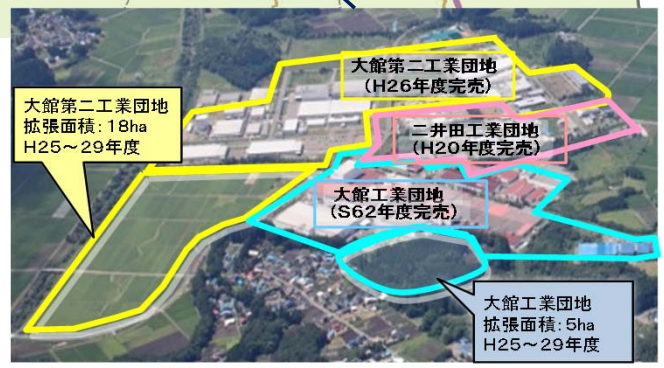
鷹巣大館道路 位置図

■位置図

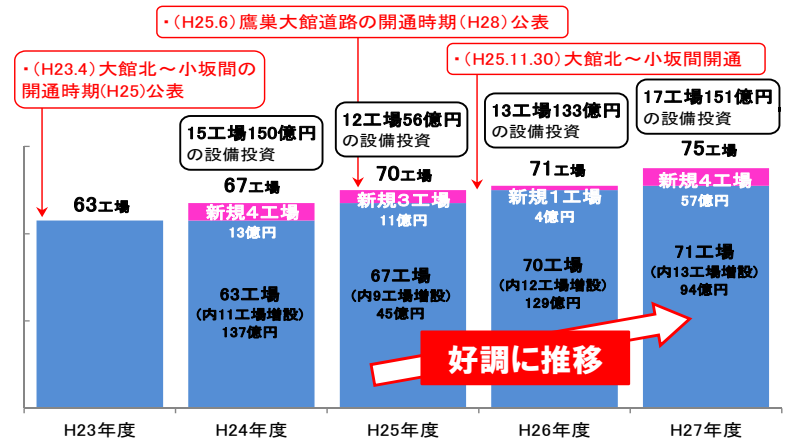


大館北～小坂間の開通以来続く企業進出・設備投資を後押し

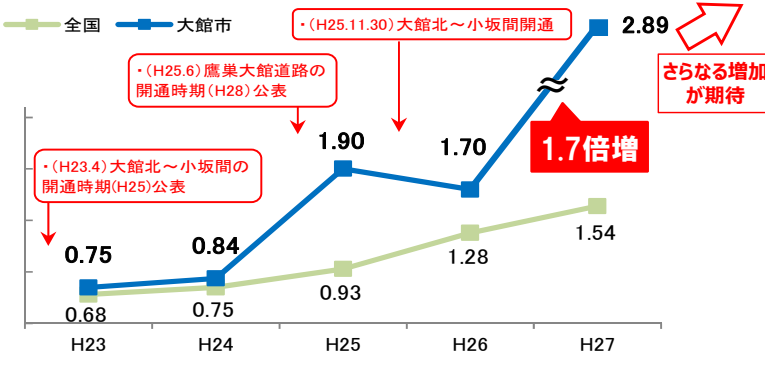
- 平成23年度に大館北～小坂間の開通時期を公表して以降、沿線の大館市では企業進出や設備投資が急増。
- 大館市では、企業進出・設備投資の受け入れとなる工業団地の拡張の整備が進み、物流効率化や更なる産業集積を支援。
- 延伸開通を見据えた企業進出、設備投資も好調に推移しており、県北地域全体の更なる産業発展に大きく貢献。



▼大館市の主な工場数と設備投資額の推移



▼高卒者求人倍率の推移



注) 各年7月末現在における来春の新規高校卒業者の求人・求職状況
出典: 大館市、厚生労働省

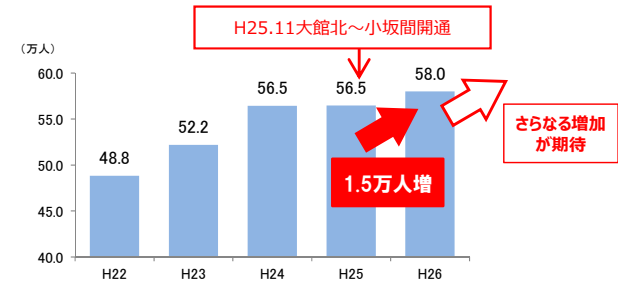
県北全体が連携した広域周遊観光ルートの形成を支援

- 鷹巣大館道路開通による時間短縮が、秋田県北地域の連携した周遊観光ルートを形成。
- 世界自然遺産「白神山地」や世界遺産登録を目指す「縄文遺跡群」の世界遺産周遊観光ルートの形成を支援。
- 道路ネットワークの充実が、インバウンド観光の促進による交流人口拡大を目指す、地域連携DMO（大館市・北秋田市・小坂町）活動を支援。

※地域連携DMO・・・複数の区域を、一体とした観光地域としてマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織



▼大館市・北秋田市・小坂町の
主なイベント・観光施設の入込客数



出典：秋田県観光統計、青森県観光入込客統計
(本場大館きりたんぼまつり、十和田湖冬物語、大太鼓の里物ぶっさん館)

●大館市商工会議所の声

・鷹巣大館道路の開通は、インバウンドをターゲットにしたPRにおいて強力な武器となり、**交流人口の拡大に弾みがつくものと期待しております。**

大館市などの地域連携DMO 顧問に明石元国連事務次長



明石 康氏

大館市の福原厚嗣市長は29日の定例記者会見で、周知の市町村と組織する地域連携DMO(観光地域づくり法人)「秋田オーリス」の顧問に、元国連事務次長の明石元国氏(81)同市比内町出身)が就任したと発表した。就任は今年14日付で、任期は来年3月31日まで。明石氏は現在、公益財団法人国際文化会館(東京)の理事・助産師を兼任し、国際経験が豊富で明石氏の協力を得ようとした。

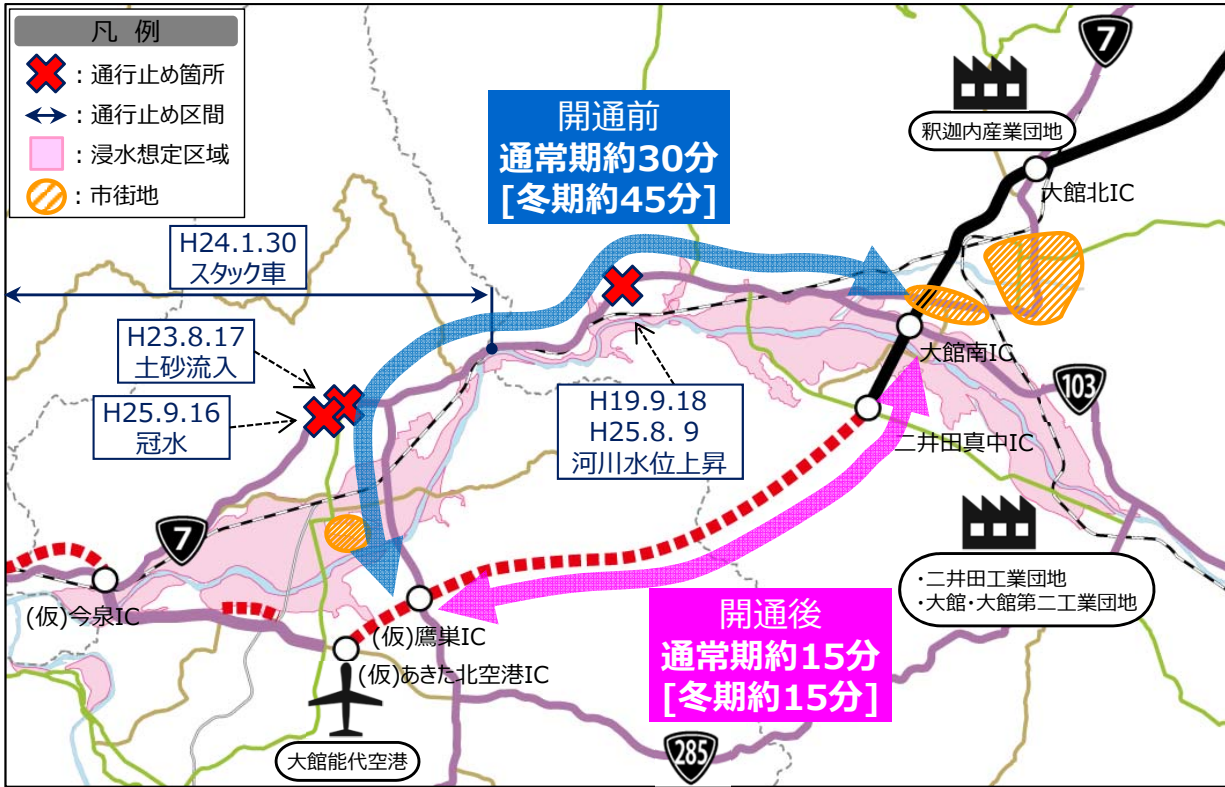
と顧問就任を求め、2011年に各市民に選ばれている明石氏は「年齢を重ねるとは故郷への思いが強くなる」との活性に貢献したい」とコメントしている。

地域の商業・観光団体などに組織する「秋田オーリス」連絡調整協議会(会長の福原市長は、明石氏に国際的な脈絡を持っている、インバウンド(訪日外国人客)振興に向け、顧問に就任してほしい」と話している。

※写真はあきたファン・ドットコムHP、北秋田市HP、青森県観光情報サイトHP、北海道・北東北の縄文遺跡群HPより

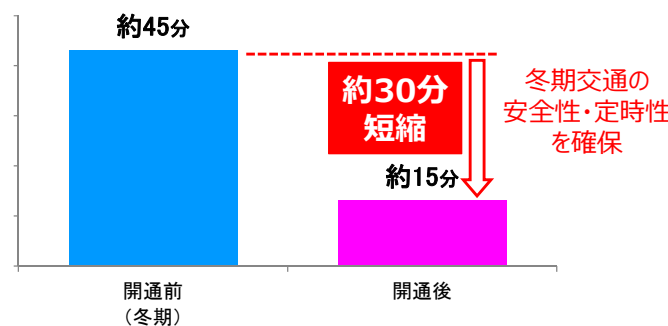
秋田県北の暮らしと産業を支える冬期交通を確保

- 国道7号（現道）は冬期積雪や吹雪により、走行速度が著しく低下し、移動には通常期の約1.5倍の時間が必要。
- 鷹巣大館道路の開通により、冬期交通障害や災害時における代替性が確保され、通勤や物流の定時性・信頼性が大幅に向上。



▼冬期の国道7号混雑状況

▼(仮)鷹巣IC～大館南IC間の所要時間の変化



※開通前は平成22年度道路交通センサスピーク時速度（冬期はH26.12プローブデータ（平日7時台））
開通後は想定規制速度70km/hで算出

鷹巣で積雪131センチ

平成24年1月31日（火）
北鹿新聞 9面

交通機関に乱れ

北鹿地方 休校、授業打ち切りも

冬期は積雪の影響で、90%の北鹿地方で交通機関に乱れが生じた。鷹巣市では、1月31日朝、鷹巣市で最大131センチの積雪が観測された。この積雪は、鷹巣市を走る国道7号に大きな影響を与えている。国道7号は、鷹巣市から大館市まで約100キロメートルにわたって、冬期は積雪の影響で通行止めや遅延が発生している。このため、鷹巣市から大館市までの交通は完全にストップしている。また、鷹巣市では、この積雪の影響で、多くの学校が休校となり、授業も打ち切りとなっている。また、多くの企業が、この積雪の影響で、業務もストップしている。このように、冬期の積雪は、北鹿地方の交通機関に大きな影響を与えている。このため、冬期の交通確保は、北鹿地方の暮らしと産業を支える上で、非常に重要な課題となっている。



▼鷹巣～大館間の国道7号における全面通行止めの経緯（過去10年間）

発生日月	規制要因	規制時間
H19.9.18	降雨による河川水位上昇	3時間15分
H23.8.17	大雨による土砂流入	21時間30分
H24.1.30	大雪によるスタック発生	4時間20分
H25.8.9	局地的大雨による河川水位上昇	22時間10分
H25.9.16	台風18号による冠水	5時間20分

出典：能代河川国道事務所

●大館工場団地内企業に勤務する方の声
・冬期の定時性が確保されるほか、安全性も向上することで安心して通勤できるようになると期待しています。